

## 基本目標4 環境に関する“ひと”を育て、協働する“まち”をつくる

本市は、美しく豊かな自然環境と、自然と調和した文化や景観等、数多くの誇るべき資源があります。

一方、環境に関する問題は近年複雑化・多様化しており、行政や一部の関心の高い人々だけが取り組めば解決するものではありません。環境を守るためには、これまで環境保全活動と関りが薄い、あるいはなかった人々も取り込み、一人ひとりが環境問題を「自分事」として捉え、正しい知識を持ち、主体的かつ継続的に、時には協力し合いながら実践することが重要となっています。

市民、事業者、学校等、それぞれの主体が環境保全に対する意識を高め、行動できるよう、環境に関する意識啓発や学習を推進するとともに、協働での環境の保全・創造に取り組めるよう、それぞれの主体間の連携を強化することで、本市の自然を保全する“ひと”づくりと、“ひと”同士が繋がる“まち”づくりを目指します。

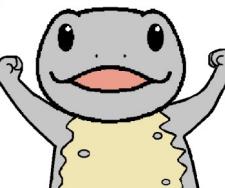
- 取組4-1 環境を守るひとを育てます  
取組4-2 協働による環境の保全・創造を推進します

### 環境目標 令和6年度実績



個別目標	環境目標	目標値と実績値				R 9に向けた目標達成率	
		現状値	実績値	目標値			
		R 4	R 6	中間R 9	目標R 12		
4-1	環境学習・セミナー等への参加人数	379人	1,259人	1,185人	1,440人	106.2%	
	環境関連の出前講座の実施回数	23回	61回	38回	59回	160.5%	
4-2	環境啓発事業参加者数	102人	2,364人	2,000人	5,000人	118.2%	
	ゼロカーボンシティ会津若松推進ネットワークのパートナー団体数	0団体	0団体	100団体	270団体	0%	
	公園等緑化愛護会数	72団体	68団体	90団体	95団体	75.6%	

みんなで環境を守るモリン！



## 環境施策 令和6年度取組実績

## 取組4－1 環境を守るひとを育てます

◇環境に関心を持ち、正しい知識を身につけます

実施事項 〔担当所属〕	R 6年度事業計画の内容	R 6年度事業実績	R 6年度事業評価
ホタル祭り 〔北会津支所 （まちづくり 推進グループ）〕	・ホタルをシンボルとした水環境の美化・保全に対する意識高揚を図ることを目的とし、令和6年6月22日にホタルの森公園にて「ホタル祭り」を開催する。	・市民及び来場者の自然環境保全に対する意識の向上を図ることを目的の一つとしてホタル祭りを開催した。 来場者数延べ12,037人	・ホタル祭りの開催により、自然環境保全に対する意識の向上を図ることができた。
こどもエコクラブ〔環境共生課（環境G）〕	・こどもたちのエコ活動や環境学習を支援することで、身近な自然を大切に思う心と問題解決のために自ら考えて行動する力を育み、地域単位で環境保全の幅を広げる。	・地方事務局として、加入案内等の広報を行った。	・こどもエコクラブへの加入者に関して新規加入者は増加していないが、既存の加入者による活動の継続はしている。今後も加入者の活動のサポートを実施していく。
各種環境教室 や環境講座の 実施〔環境共生課（環境G）〕	・地球環境を守り、豊かな自然等を次世代に残していくため、子どもたちを含めた市民の方々を対象に、各種環境教室を開催し、市全体の環境を守る意識を啓発する。	・開催実績なし。	・子どもたちを含めた市民の方々を対象に市全体の環境保全の意識啓発ができた。
「会津若松市の環境」の発行等による情報提供〔環境共生課（環境G）〕	・毎年度、環境基本計画に基づく主な施策の実績報告等を掲載した「会津若松市の環境」を発行し、本市の環境の現状や取組内容について周知する。	・令和7年1月に、令和6年度版（令和5年度実績報告）を発行した。市内をはじめ、各区長、環境美化推進協議会等へ配付し、支所や公民館に設置を依頼した。また、市のホームページにも掲載し、希望者に対しては冊子を配布した。	・環境基本計画に基づく主な施策の実績報告や、環境目標の進捗状況を振り返ることで、市民の環境に対する関心を高め、理解を深めるためのかけ橋として活用した。
ホームページ の掲載等、広報活動の推進 〔環境共生課（環境G）〕	・市民や事業所に必要とされる環境に関する情報を市のホームページや市政だよりに掲載する。	・市ウェブサイト、市政だより、出前講座、イベント（環境フェスティ、鶴ヶ城ハーフマラソン大会）での広報活動を行った。	・市民に向けて、市ウェブサイトや市政だより、各種イベント等で情報提供を行い、意識啓発・注意喚起等を行うことができた。
中心市街地活性化基本計画 に基づく各種事業の実施 （低炭素化推進セミナー） 〔商工課〕	・関係各所と連携し、低炭素化に対する事業者の意識向上を図る。	・令和6年11月9日（土）～10日（日）に開催した「会津まちなかふれあい市in神明通り」において、環境生活課（現環境共生課）へ出展・参加を打診したが実現には至らなかった。	・実現に至らなかったものの、周知する機会を環境生活課（現環境共生課）へ情報提供することができた。

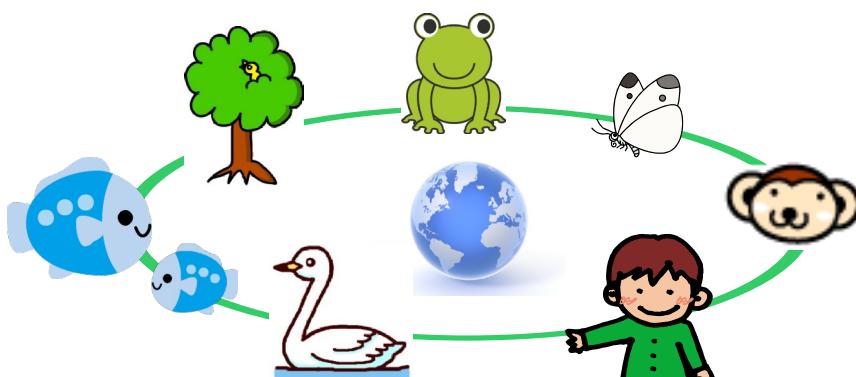
実施事項 〔担当所属〕	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
森林環境学習事業〔学校教育課〕	・市立学校の児童生徒を対象に、災害防止や地球温暖化防止など、森林の持つ様々な役割と林業について学習する機会を提供し、環境保全などに対する理解を深める。また、SDGsの観点から環境問題を考える契機とする。	・市立学校全28校（小学校17校、中学校9校、義務教育学校2校）において、森林環境交付金を活用して、年度当初の計画に基づき様々な授業時間の中で、時間・場所・手法を用いて森林環境学習を実施した。	・市立学校の児童生徒が、森林の持つ様々な役割と林業について学習する機会を体験することを通して、環境保全などこれらに対する理解を深める契機となった。
環境関連図書などの資料整備事業〔生涯学習総合センター〕	・児童書から一般書まで環境関連図書の購入に努める。 ・学校支援図書セットの「環境問題」については中身の一部入れ替えを行い、他のセットとあわせ、継続して広報に取り組む。	・6月の環境月間にあわせ、環境関連図書の展示・貸出を行い、関連するチラシ、パンフレットも併せて配布した。 ・学校支援図書セットを整備し、小学校・義務教育学校に周知したが、「環境問題」セットの貸出は無かった。	・環境生活課（現環境共生課）と連携し、重点テーマに合わせて資料を選び、展示を行った。SDGsやゼロカーボン等、市民の関心も高く、親子で展示資料を手に取る姿が見られるなど、市民への啓発に努めた。 ・学校支援図書セットを整備し、小学校・義務教育学校への周知に努めたが、「環境問題」セットの貸出は無かった。
下水道出前講座等の実施〔下水道施設課〕	・下水道のしくみと役割、下水処理場のしくみを説明し、環境意識の醸成を図るとともに、下水道等の普及率の向上を図る。	・出前講座 小学校2校 84名 ・夏休み親子教室 児童7名 保護者7名	・出前講座及び夏休み親子教室の開催により環境意識の醸成を図り、下水道等の普及向上を図った。
浄化工場見学〔下水道施設課〕	・下水浄化工場の見学者に対し、下水道のしくみや効果について説明することで水環境への意識啓発を図る。	・下水浄化工場にて5件 112名の見学者を受け入れ、水環境への意識啓発を図った。	・下水浄化工場へ見学者を受け入れることにより、水環境への意識啓発を図れた。
景観認定の実施〔都市計画課〕	・3か年実施した結果を踏まえ、制度の見直し等を議論する。	・景観審議会において制度運用の見直しを行い、今後は不定期で開催することになった。	・景観認定等のPR施策について、情報発信の方法等に関する検討が必要とされた。
出前講座（環境系）〔環境共生課（環境G）〕	・団体等からの要請により、適宜環境に関する出前講座を実施する。	・地球温暖化と環境にやさしい暮らし 実施回数3回 参加人数39人 ・川の探検隊 実施回数2回 参加人数73人 ・猪苗代湖の水環境講座 実施回数2回 参加人数33人 ・会津若松市の身近な生き物 実施回数1回 参加人数13人 ・次世代自動車について学ぼう 実施回数1回 参加人数16人	・生き物や自然環境、気候変動等に関する講座は、実施回数は少ないものの、参加者の満足度は高く、参加する学校では毎年の授業カリキュラムに組み込んでいる。

実施事項 〔担当所属〕	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
施設見学・各種イベント 〔環境共生課（ごみ減G）〕	・ごみ処理施設見学に参加した小学生に向けて、ごみの現状や減量についての説明を行う。 ・ごみの現状についての理解を深めること、また減量への意識向上を目的に、小学生とその保護者を対象としたイベントを開催する。	・施設見学 小学校14校 362人 ・夏休みイベント「ごみ収集車を追いかけよう」 実施回数 4回 参加人数 82人	・施設見学やイベントの参加者に対して、ごみ処理とリサイクルの様子を、資料での説明や見学、ゲームを通して楽しみながら体験し、理解を深めることで、ごみ減量意識の向上につながった。
出前講座（ごみ減量とリサイクル）〔環境共生課（ごみ減G）〕	・ごみの現状の理解と減量への意識向上を目的に、公民館や各種団体の依頼に応じた場所で出前講座を開催する。	・44回実施 1,031人	・コロナ禍が明けてきたことや、ごみ緊急事態宣言を受けたことにより、前年度より大幅に増えた。
出前講座（森林（もり）の大切さ）〔農林課〕	・出前講座の実施により森林が果たしている役割の周知に努める。	・1件（中学校1校 88名）	・森林の大切さや役割について、説明を行った。
出前講座（環境を守る下水道）〔下水道施設課〕	・小学4年生以上を対象とし、下水道のしくみと役割、下水処理場のしくみを説明し、水環境への意識啓発を図る。	・小学校2校 84名の参加で出前講座を行い、環境意識の醸成を図り、下水道等の普及向上を図った。	・小学校で出前講座を行うことにより、下水道の普及が環境改善につながる認識を深めることができた。
出前講座（ゲンジボタル）〔北会津支所（まちづくり推進グループ）〕	・ホタルの生態等について学習することで、ホタル生息環境保全の取組について意識向上を図る。	・ホタルの生態等について学習することで、ホタル生息環境保全の取組について意識向上を図る目的で実施する予定であったが、実績はなかった。	・実績がなかたため、評価なし。
公民館主催事業「くらし彩り講座」〔北公民館〕	・女性を対象とした事業において、学習会全8回のうち1回、「ごみ減量とリサイクル」講座を開催。	・開催日：令和6年11月21日 参加者：6名 内容：本市のごみ現状と減量の講義及びキエ一口の実演	・ごみの減量とリサイクルへの意識向上が図られた。
公民館主催事業「町北高齢者学級」〔北公民館〕	・高齢者を対象とした事業において、学習会全8回のうち1回、「ごみ減量とリサイクル」講座を開催。	・開催日：令和6年5月29日 参加者：26名 内容：本市のごみ現状と減量の講義及びキエ一口の実演	・ごみの減量とリサイクルへの意識向上が図られた。
公民館主催事業（よってカフェ）〔湊公民館〕	・湊地域の交流の場として月2回程度開催するよってカフェにおいて、「キエ一口」の出前講座を実施	・開催日：令和6年4月17日（水） 参加者：27名 内容：本市のごみの現状とキエ一口の説明 ・実際にキエ一口を使っての生ゴミ処理の仕方実演	・生ごみの減量への意識向上が図られた。

実施事項 [担当所属]	R 6年度事業計画の内容	R 6年度事業実績	R 6年度事業評価
夏休み移動教室(生活環境教室)〔河東公民館〕	・河東学園児童を対象とした夏休み移動教室において、ごみ処理の課題やゴミ減量方法(キエ一口)について学習する「生活環境教室」を開催。	・開催日：令和6年7月25日 内容：若松市のごみ処理の課題やごみ減量法について学習した。 講師：市廃棄物対策課職員 参加者：河東学園前期課程児童 26名	・ごみ処理ツールの「キエ一口」を実際に見たり触れたりする機会があり、生ごみの処理について理解が深まった。家庭でもやってみたいという声が多く聞かれた。

#### ◇環境を守る活動を実践します

実施事項 [担当所属]	R 6年度事業計画の内容	R 6年度事業実績	R 6年度事業評価
環境美化推進協議会による地域での緑化の推進〔環境共生課(ごみ減(G))〕	・環境美化推進協議会への補助や支援を行うことにより、各地区での植樹や花壇整備などの環境緑化の積極的な推進を促す。	・全18地区の環境美化推進協議会に補助金を交付し、清掃、資源物回収、花植栽などの活動を支援した。	・全18地区の環境美化推進協議会に補助金を交付し、各地区での植樹や花壇整備などの環境緑化の積極的な推進を促した。
市民憲章推進事業(花いっぱい運動・花園コンクール)〔市民協働課〕	・市民憲章条文「環境をととのえ美しいまちをつくりましょう」の実践事業として、会津若松駅前へのプランター設置と、市内で草花を育てている個人や団体等を対象とした花園コンクール写真展を開催し、美しいまちづくりの推進を図る。	・市民憲章推進委員会推進委員及び関係団体の参加により、例年通り駅前のプランター設置を実施。 花園コンクール写真展には、5日間で182名の来場者があり、美しいまちづくりの取組周知につながった。	・事業計画通り実施することができた。
施設情報の提供〔まちづくり整備課〕	・指定管理者独自のホームページ等で、施設やイベントの情報を紹介していく。	・指定管理者独自のホームページ等で、施設やイベント紹介など、年間を通して実施した。	・指定管理者独自のホームページ等で、施設やイベント紹介など、年間を通して実施した結果、施設利用者への様々な情報を伝達する事が出来た。
市営駐輪場の放置自転車撤去〔危機管理課〕	・駅前の環境美化のため、駐輪場等の放置自転車撤去を春・秋2回行うとともに、高校生等への指導を行う。	・5月に95台、10月に110台の放置自転車を撤去した。 ・所有者が不明であったり、引き取りに来なかつた自転車75台を廃棄処分した。	・駅前の放置自転車の撤去により、環境美化が図れた。



## 取組4－2 協働による環境の保全・創造を推進します

◇環境活動に取り組むひと同士のつながりを作ります

実施事項 [担当所属]	R 6年度事業計画の内容	R 6年度事業実績	R 6年度事業評価
市民向け講座 「私のサラダ～SDGsを自分ごとに～」〔南公民館〕	・SDGsについての講話、有機農業の農作業体験、エコクッキング教室などを開催（全3回） エコクッキング教室の一環で「キエ一口」についての出前講座を実施。	・SDGsについての講話、有機農業の農作業体験、エコクッキング教室などを開催した。（全3回） ・エコクッキング教室の一環で「キエ一口」についての出前講座を実施した。	・SDGsや「キエ一口」についての学びを通して、受講者の環境保全意識を高めることができた。
げんき塾〔一箕公民館〕	・環境保全への関心を高める機会を提供するため、講座の一環として令和6年5月に「田植え体験」、同年10月に「稻刈り体験」を開催する。	・5月に「田植え体験（手植え体験&田植機見学）」を実施し、小学生とその保護者、合計26名が参加した。また、10月に稻刈り体験（手刈り体験&コンバイン見学）を実施し、小学生とその保護者、合計33名が参加した。	・適宜自然の中での体験活動を開催してきたことで、環境保全への関心を高める機会を提供してきたと評価できる。
ごみ分別、減量意識の啓発活動〔環境共生課（ごみ減G）〕	・出前講座の開催や、施設見学での説明を行う。 ・小学生とその保護者を対象としたイベントを開催する。 ・市内事業者や飲食店に向け、3010運動の普及啓発を行う。 ・生ごみ処理容器「キエ一口」拡大の取組を行う。	・出前講座 44件実施 1,031名参加 ・ごみ収集車を追いかけよう 4回実施 82名参加 ・3010運動のチラシを作成し、7団体に対し周知啓発と食品ロス削減への取組協力を依頼 ・キエ一口学習会 2回実施 66名参加	・様々な取組により、ごみ分別減量の意識の啓発につながった。
公園等緑化愛護会〔まちづくり整備課〕	・国際的ふるさと会津創生事業の内容と同じ。	・国際的ふるさと会津創生事業の内容と同じ。	・国際的ふるさと会津創生事業の内容と同じ。
お茶の間ひろば〔北会津公民館〕	・公民館の緑化美化推進と市の課題であるごみ減量化を考える機会を通して、参加者同士の交流を深め、地域の人々の自由な居場所づくりを行う	・開催日：令和6年6月24日開催 内容：公民館の花植え、魔法のごみ箱キエ一口の紹介 参加人数：6名	・ごみの現状の理解と減量への意識向上が図られた。

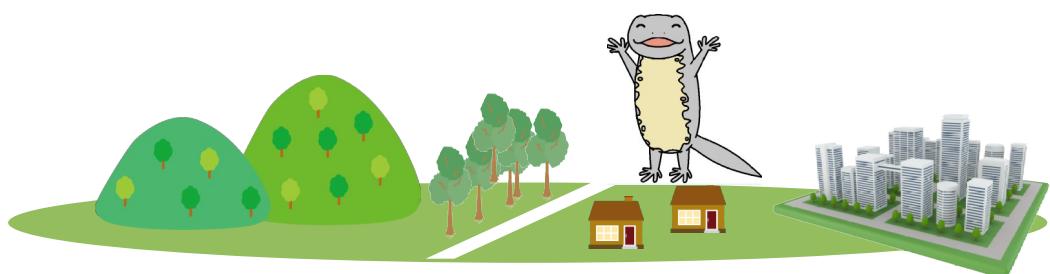
◇環境活動に取り組む団体同士の交流を活発化させます

実施事項 [担当所属]	R 6年度事業計画の内容	R 6年度事業実績	R 6年度事業評価
環境フェスタの開催〔環境共生課（環境G）〕	・市民が豊かな自然にふれあい、学べる機会を創出するとともに、環境保全活動を実践する団体等のネットワークを形成する。	・第32回環境フェスタを開催し、市民の環境保全への意識の高揚を図った。 開催日：令和6年10月12日（土） 参加者数：1,251人	・各展示ブースにおける企画、体験等を通じて、テーマに合わせた環境保全活動の啓発を行うことができた。

実施事項 [担当所属]	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
環境大賞の実施〔環境共生課（環境G）〕	・日ごろから積極的に環境保全活動に努めている市民や団体を顕彰することで、市民の環境保全意識の向上と環境保全の取組の促進を図る。	・日ごろから環境活動に尽力している個人4件、事業所1件、団体2件を表彰した。	・平成26年から令和5年度までの表彰件数は44件となり、市民の環境保全意識の向上と環境保全の取組の促進を図ることができたと考える。
水道週間児童生徒作品展の実施〔上下水道局総務課〕	・水道に関する作品づくりを通じて、水道が健康で文化的な生活を支える基礎的で重要なインフラであることを改めて認識するとともに、市民の水道事業への理解と関心の向上を図る。 ・入賞した作品と児童生徒について、児童生徒作品展及び表彰式を実施する。	・水道週間にに関する作品を小・中学生を対象に募集及び表彰 ・児童生徒作品展及び表彰式の実施（生涯学習総合センター） ※応募作品総数3,233点、入賞作品数73点	・作品を募集し、作品展や表彰式を行うことにより、水道について考える機会となり、水道事業への関心の向上が図られた。

◇様々な分野の団体や事業者と協働し、ともに環境問題の解決に取り組みます

実施事項 [担当所属]	R6年度事業計画の内容	R6年度事業実績	R6年度事業評価
会津若松市地区長会主催事業（春の各地区清掃事業）〔市民協働課〕	・会津若松市地区長会・各地区区長会の主催により、町内会が周辺の道路や側溝等の清掃活動を実施することで、快適で住みよいまちづくりを推進する。	・地区ごとに一斉清掃の日程を定めることを基本として、町内会や庁内各課と連携し、道路・側溝にたまつた土砂の除去と回収等を実施した。	・水路の流れや水質の改善、水害等の予防による住みよいまちづくりや、町内会のつながりや連帯意識の醸成に寄与した。
AiCTコンソーシアムやリサイクル事業者など、3Rに取り組む市民・事業者等との連携〔環境共生課（ごみ減G）〕	・AiCTコンソーシアムやリサイクル事業者や3Rに取組市民と連携したごみの分別と減量の取組を推進する。	・「もったいない会津」による古着を活用した、ファッションショーの開催の協力 ・AiCTコンソーシアムと連携し、AiCTまつりでのバイオプラスチック容器のリユースを促す実証を実施した。	・AiCTコンソーシアム、リサイクル事業者、3Rに取組む市民と連携したごみの分別と減量の取組を推進した。



## 特集 「環境フェスティバルの開催」

(担当課：環境共生課)

### ■環境フェスティバルの開催

市民の環境問題に対する意識高揚を目的に、毎年、市内の環境団体等で構成される実行委員会により、「環境フェスティバル」が開催されています。令和6年度は「第32回環境フェスタ in あいづ」を開催しました。

市では、より良い生活環境を創出するとともに、自然豊かな環境を次の世代に継承するため、市民一人ひとりが環境について学べる機会となるよう、さらには環境保全に取り組む市民団体等の相互交流が図れるよう、実行委員の活動を支援しています。



### 【令和6年度の実績】

- 開催日：令和6年10月12日(土)
- 会場：鶴ヶ城体育館
- 来場者数：1,251名

令和6年度の  
環境フェスタ  
のチラシです

### ◆第32回環境フェスタ in あいづの様子



## 特集 「各種環境教室・環境講座・生涯学習出前講座の実施」 (担当課:環境共生課)

地球環境を守り、豊かな自然等を次世代に残していくため、子どもたちを含めた市民の方々を対象に、各種環境教室を開催し、市全体の環境を守る意識の啓発に努めています。

### 【各種環境教室の開催概要】

#### 1 自然環境教室 身近なムシたち

- 開催日：令和6年7月21日（日）
- 場 所：小田山・子どもの森
- 参加者：9名
- 内 容：観察会 子どもの森周辺の昆虫
- 講 師：五十嵐 悟 先生



講師の説明を聞く参加者

#### 2 自然環境教室 鶴ヶ城野鳥観察会

- 開催日：令和6年11月24日（日）
- 場 所：鶴ヶ城公園・追手町第二庁舎
- 参加者：16名
- 内 容：座学 会津若松市の野鳥  
観察会 鶴ヶ城の野鳥観察会
- 講 師：満田 信也 先生



野鳥観察の様子

#### 3 自然環境教室 フィールドサイン観察会

- 開催日：令和6年2月（大雪のため中止）



フィールドサインを見つけた  
講師と参加者（R 5撮影）

#### 4 生涯学習出前講座の実施

市では、市民を対象に「自主的、主体的な学習活動」を支援するため、市職員が講義や説明を行う生涯学習出前講座を実施しています。

##### 令和6年度 生涯学習出前講座一覧（環境関連講座）

	講座名	内容	時間	対象	R 6 実施回数	担当課
1	地球温暖化と環境にやさしい暮らし	○地球温暖化のしくみ ○市の地球温暖化対策 ○日本のエネルギー事情 ○今日からできるエコな取組	60分	すべて	3回	
2	川の探検隊	○水生生物調査とパックテストについて ○実際に川を調査してみよう ○川の汚れの原因は？	90～150分	小学4年生以上	2回	
3	猪苗代湖の水環境講座	○猪苗代湖の水質について ○猪苗代湖の不思議なメカニズム ○猪苗代湖を守るためにできること	60分	小学4年生以上	2回	
4	会津若松市の身近な生き物	○市内に生息する生き物について ○生き物を通して見る環境問題 ○生き物と共生していくために私たちに出来ることと市の取組	45～60分	すべて	1回	
5	次世代自動車について学ぼう	○電気自動車・水素自動車の経済的な効果 ○地球環境に与える効果、乗り心地 ○補助金について ○水素自動車の乗車体験	60分	すべて	1回	環境共生課
6	会津若松市における放射線の現状	○放射線の基礎知識 ○放射線の健康影響 ○市における放射線の現状	60分	中高生一般	0回	
7	ごみ減量とリサイクル	○会津若松市のごみの現状 ○私たちにできること ○家庭ごみの分別方法・排出方法 ○生ごみの減量	60分	すべて	4回	
8	生ごみが消える！魔法のごみ箱「キエ一口」の使い方を学ぼう	○ごみ処理基本計画の目標と達成状況について ○消滅型生ごみ処理容器「キエ一口」について ・キエ一口の基礎知識 ・キエ一口の始め方 ・キエ一口の使い方	30～45分	すべて	29回	
9	森林（もり）の大切さ	○森林の役割 ○会津若松市の林業	30分	小学校高学年以上	1回	農林課
10	環境を守る下水道	○下水道の役割 ○下水処理場の仕組み ○顕微鏡を使った、下水処理微生物の観察	45～90分	小学4年生以上	2回	下水道施設課（下水浄化工場）
11	ゲンジボタル	○ホタルの生態 ○卵から成虫まで ○ホタルとカワニナ ○ホタル生息地環境保全の取組について	30分	すべて	0回	北会津支所まちづくり推進課

## 特集 「ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議」（担当課：環境共生課） 「犬ふん放置防止の周知活動」（担当課：健康増進課）

### 1 「ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議」

ポイ捨てや犬ふん放置のない、明るく住みよいまちづくりを推進するために、ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議を設置し、取組を行っています。

#### (1) 啓発活動

##### 鶴ヶ城ハーフマラソン「ハッピークリーンキャンペーン」の実施

###### ①清掃活動

- 開催日：令和6年10月4日（土）～10月5日（日）
- 場 所：会津総合運動公園及びマラソンコース周辺
- 参加者：214名
- 回収量：175kg



清掃活動の様子

###### ②燃料電池自動車の展示を行いつつ、その電力を活用して休憩いただき、脱炭素に関する掲示を行ないました。

- 開催日：令和6年10月5日（日）
- 場 所：会津総合運動公園内ブース

### 2 「犬ふん放置防止の周知活動」

#### (1) 啓発活動

##### ①狂犬病予防接種での啓発チラシの配布

- 開催日：令和6年4月8日（月）～4月18日（木）
- 場 所：宝積寺薬師堂前  
一箕公民館前  
松長コミュニティセンター前  
外23カ所

- 配布枚数：690枚



予防接種会場での啓発活動の様子

##### ②ペットショップでの啓発

啓発チラシをペットショップのレジで配布してもらうように依頼しました。

#### (2) 啓発用看板の配布

市では、ごみのポイ捨てや犬のふんの放置で困っている市民の方に、無償で看板を配布しています。

令和6年度は、21枚の啓発用看板を配布しました。

